

浅間台

松戸市立第二中学校

令和5年度 9月号

〈「暑い夏、熱い勇姿」～頑張るから応援する、応援するから頑張れる～〉

校長 佐野 公雄

今回の夏休みは、観測史上最高ともいわれる記録的な猛暑となりました。報道によると、この暑さはまだ続くようです。北海道では、家庭におけるエアコン設置率は40%（関東地方は90%）しかなく、8月下旬からすでに授業が始まっている小中学校も、教室にエアコンが設置されていないところが多く、教育活動にも影響が出ているようです。この夏、避暑を求めて北海道を訪れた方々も、関東より暑い日もあった今回の異常気象に辟易しているようです。みなさんもこの夏、ご家庭において様々な熱中症対策を行いながら過ごされたことと思います。本校も今日から2学期が始まりました。お子さんが、①睡眠不足にならないこと。②朝食をとること。この2つをしっかりと実践するよう、ご家族からも声掛けをお願いします。

さて、そんな記録的な暑さの夏休みでしたが、元気に活動している生徒たちの姿も見られました。部活動では、陸上部の県大会・関東大会（男子4種競技で3位入賞!）・全国大会出場を筆頭に、剣道部男子団体・バドミントン部女子団体も県大会にコマを進めました。また、吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで金賞（本選出場）、合唱部が県合唱コンクールで銀賞に輝いています。また、4年ぶりに盆踊りなどの地域の祭礼が開催されました。本校の学区内だけでも9つの祭礼があり、地域の行事に子どもたちが参加する姿を見ることができました。いくつかの会場で、本校の生徒が設置や片付けなどの手伝いを行ってくれたようです。また、祭礼当日には太鼓をたたいたり、販売の手伝いをしている生徒や卒業生も見かけました。さらに、矢切地区の福祉協議会館において、市のこどもサポートセンターが行っているボランティアに、5日間、計30名以上の生徒が参加して小さな子どもたちのお世話をしてくれました。

このように、この夏、脱コロナで4年ぶり（校長としては初めて!）に様々な子どもたちの活動を見ることができ、とてもうれしく思いました。親御さんたちはもちろんですが、私たち大人にとって、子どもたちが生き生きと楽しく、一生懸命に活動している姿を見られることは、大きな喜びのひとつです。今回、大会やコンクールで子どもたちをカー杯応援されているご家族の方々も多く見かけましたが、日頃の疲れを忘れ、癒される時間だったのではないのでしょうか。

現在、男子バスケットボールのワールドカップが開催されており、先日、日本チームが格上のフィンランドを破り、たいへん盛り上がりました。オリンピックやワールドカップなどの世界大会で、日本が勝利したのは、自国開催だった2006年の世界選手権以来で、ヨーロッパのチームに勝利したのは今回が初めてということです。この奇跡的勝利を選手は、「会場の応援があったから」と声をそろえて話していました。先月号でも話した、まさに『応援の力』だったのではないのでしょうか。残念ながら、決勝ラウンドには進めませんでしたが、目標の「パリ五輪出場権獲得」を目指し、これまでの試合のように、最後まであきらめず頑張りたいと思います。

さて、本校でも今月に体育祭が行われます。昨年度は、カー杯競技する一人ひとりの生徒と、クラスや学年の垣根を越えて、頑張る仲間たちを応援する生徒たちの姿に感動したことを思い出します。今年も昨年以上に多くの子どもたちの勇姿を見られることを楽しみにしています。保護者のみなさんも、ぜひ応援に駆けつけてください。



「歴史的勝利に喜ぶ日本選手」(C) 読売新聞オンライン